

京都市の目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

令和6年度 学校教育において重視する視点

■子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める

桂川中学ブロック 小中一貫 学校教育目標

互いの生き方・考え方を尊重し合える関係を築き、

自己の可能性を信じ、進もうとする児童生徒の育成

学校教育目標 『仲間とともによりよい社会を創り出す子ども』
 ～自ら学ぶ力を高め、豊かな人権感覚を育み、心身の健康を保ちながら～

めざす子ども像

すべての教育活動を通じて、人としての礎を築き、学力の基礎・基本の定着を図り、

子どもの個性と可能性を引き出し、社会でよりよく生き抜く力を育成する。

① すすんで学習にとりくむ子

② 思いやりのあるやさしい子

③ 心も体もたくましい子

めざす子ども像の具体的な姿

◎自らあさいつがで、はきものがそろえられる姿（協働性 人間性）

◎意欲的に学習に取り組み、仲間との交流を楽しむ姿（主体性 コミュニケーション）

自己実現力

協働力

自己表現力

めざす教職員像

（子どもに背中を見せることができる教職員集団）

学校教育目標の具現化に向けて、職責を自覚し、自己研鑽に努め、教職員との連携を深めながら、粘り強く実践できる教職員集団をめざす

めざす学校像

（地域が誇れる学校をめざして）

たくましく社会を生き抜くことができる子どもを育むことを第1に考え、地域の特性を踏まえ、地域の中で、地域とともに歩むことができる学校づくりをめざす。

『変化充実』の精神でちゃんとやりきる川岡東

学力向上に向けて

自分の良さに気づき、豊かに人と関わる子を目指し、各教科における言語活動の充実を図れるように、言葉を大切に、自分の思いや考えを豊かに交流できる子どもの育成を推進する

- ① 学級経営力の向上
- ② 授業力の向上
- ③ 基礎基本の徹底
- ④ 総合育成支援教育の充実

人権意識の向上に向けて

さまざまな仲間との交流を通して、自他の命、生き方、考え方を尊重し、人権文化の担い手を育成する

- ① 集団づくりと規範意識の育成
- ② 人権教育の充実
- ③ 道徳教育の充実
- ④ 生徒指導の充実
- ⑤ 豊かな感性の育成

心身の保持増進に向けて

心身の健康に関する意識を高め、生活習慣の確立とともに、積極的に運動機会を取り入れ体力の向上を図り、安全で安心な生活を推進する自己管理能力を育成する

- ① 運動機会の充実
- ② 基本的生活習慣の確立
- ③ 性に関わる教育の充実
- ④ 栄養指導の充実
- ⑤ 安全教育の充実

一人ひとりの子どもを徹底的に大切にする

- ・子ども理解を第一に「子どもの困り」の明確化と支援の具体化
- ・学年間による児童理解の徹底
- ・生徒指導部会やケース会議の適宜開催と充実
- ・SC、SSWを活用した教育相談体制の確立
- ・こまめな連絡による保護者との連携強化
- ・就学前施設との連携強化と家庭環境の把握

- ・個別の指導計画や個に応じた指導計画の作成と有効的な活用
- ・担任外の教職員との連携による支援体制の確立
- ・関係機関との連携強化
- ・LD等通級指導教室での支援の必要な子どもの学力向上
- ・ICTの効果的な活用等、学習支援の充実

開かれた学校づくりに向けて

学校の取組を積極的に配信するとともに、学校と地域、学校と保護者の連携を高め、

協働推進できる学校づくりをめざす

○学校アンケートの実施と分析、そして速やかな公表

○ホームページや学校・学年だよりを活用した情報発信

○学校運営協議会の充実

○保幼小連携の充実

○桂川中学ブロック小中連携、小小連携の充実